



河小だより

四日市市立河原田小学校
第 17 号 2020. 3.4

いつもどおり!

教職経験 37 年で初めての経験の長い日数の臨時休校。感染リスクの回避という非常事態であるが故、子供たちの健康・安全を第一に考えなければならないことからの決定だと考えます。ただ、子供たちのことを考えると、保護者の方と共に過ごすには気になることはないのですが、子供だけで過ごす場合は、どのように休校中の生活の仕方を指導すればいいのか悩ましいことでした。担任から子供たちに休校中の生活の仕方を指導してはいますが、十分ではないです。子供たちの自己管理能力に期待する割合が大きいです。子供たちは、夏休み、冬休みを経験しています。それを基盤として、有意義に過ごしてくれると信じています。

次のようなニュースがありました。

「新型コロナウイルスの感染拡大を受けて萩生田光一文部科学相は 2 月 28 日朝の会見で、臨時休校の実効性を担保するためとして、児童生徒に対し『基本的に自宅で過ごすよう指導するとともに、子供たちが不要不急の外出をしないよう関係省庁に協力を求めた』と述べた」と。

子供たちにも、担任よりその趣旨で指導をしました。ただ、長い日数になります。「基本的に自宅で過ごす」と指導しても、子供たちの心情を推し量ると「難しいな」というのが教師の感覚です。「まったく友達と遊ぶことなく、過ごせるのか」「一日の生活リズムが乱れないか」など、様々に不安な点が浮かびます。

「不要不急の外出をしない」と言っても、子供たちには判断が難しいです。「このことは必要なこと?」「これって、今でなければならぬ?」ということは、大人でも難しいです。言葉で「基本的に自宅で過ごす」「不要不急の外出をしない」と言っても、現実的には行動および判断がしにくく、子供たちにとってストレスフルな状況になることが考えられます。どうぞ、保護者の皆様は、子供たちと日々の過ごし方を話し合ってください、子供のストレスに共感しつつ、家事の手伝いなどを頼んで、貢献感を高め、充実した日々が過ごせるようお願いいたします。ご家庭で決めていただいたことを進めていただくことが最善です。

学校としても、参考にさせていただこうと、教師からは休校中の過ごし方の一例として「本来、学校に登校しているはずなので、土・日・祝日以外の一日の過ごし方は、学校の時間割通りに過ごすリズムが取れる」ことを話しました。「休み時間には読書をして過ごす、掃除の時間は、家の掃除・部屋の片づけをする」といった具合です。あくまで例として挙げました。

子供たちのより良い生活リズムの確保に関しまして、ご協力よろしくお願いいたします。